

# 北谷町下水道事業経営戦略 (令和 8 年度～令和 17 年度)

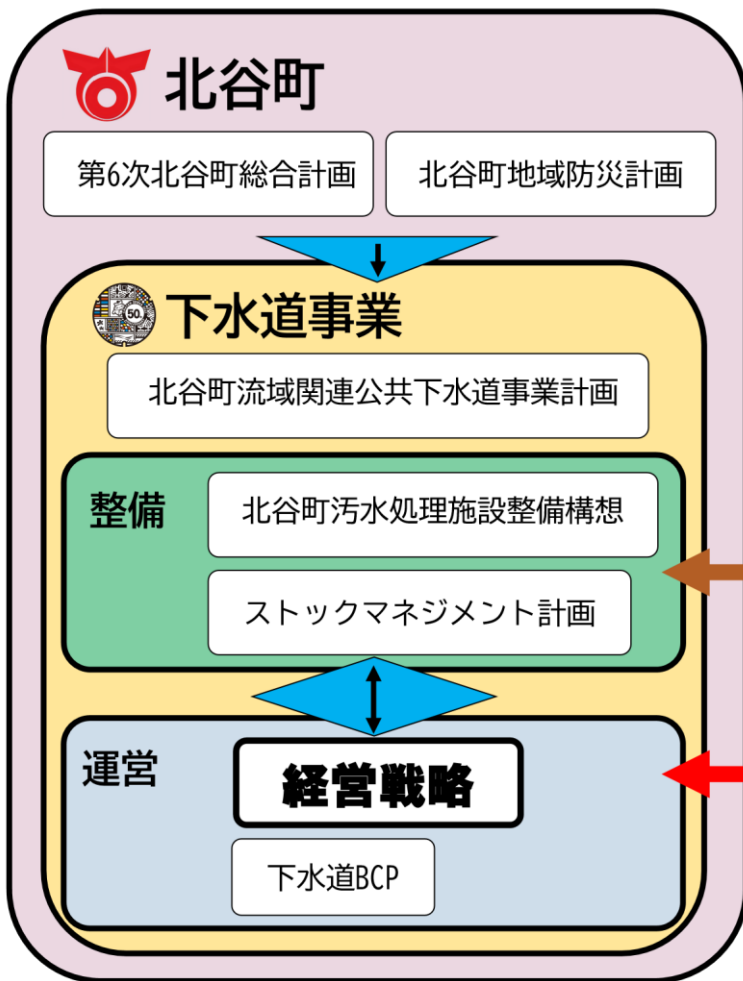
令和 8 年 4 月改訂版概要



北谷町

# ～経営戦略って？～

## ・経営戦略の位置づけ



みんなに下水道サービスを提供し続けるための計画だよたん

排水量はどう推移するかな？  
施設の更新はどう進めようかな？  
維持管理にどれだけお金がかかる？  
必要なお金は使用料でまかなえる？



国土交通省

「下水道」を管轄する省庁



総務省

「公営企業」を  
管轄する省庁

公営企業が継続して運営できるよう、  
「経営戦略」を策定するように指導

下水道サービスを将来にわたって安定的に継続するため、事業環境の変化を踏まえながら、必要な整備や維持管理などを「どう行う必要があるのか」、それをまかなう「使用料収入の見通しがどうなっているのか」を示す、今後の経営（運営）の指針となる計画です。

## ・今回の計画更新について

主な更新ポイントは次のとおりです。

- ①ストックマネジメント計画が改定されたので、更新計画に反映しました。
- ②沖縄県流域下水道の污水处理負担金の単価改定構想に伴う影響を反映しました。
- ③更新にあたって、各種情報を更新しました。



前回計画策定時から状況に変化があったので、経営の継続性が維持できているかチェックしました。

## ・見直した結果について

### ①ストックマネジメント計画

→計画的・効率的な施設の更新を実施するための計画です。(P20、P22、P25、P28 など)

効率的な工法や健全度合いを確認したうえで、更新の優先順位付けを行い、計画的・効率的な施設の更新を行います。更新に係る費用の偏りを無くし、平準化することで経費の縮減を図りました。

### ②沖縄県流域下水道の汚水処理単価負担金の改定

→経営に重大な影響があります。(P31、P34-35、P36 など)

令和7年10月の沖縄県流域下水道関連市町村説明会にて、汚水処理負担金の単価改定について説明があり、令和9年4月から改定が予定されています。(50円/㎡・税抜→58円/㎡・税抜)

物価高騰等による費用の増加なども重なり、支出は年々増加し、毎年大幅な赤字を計上する見込みとなっています。

### ③各種情報の更新（説明省略）

## ・投資財政計画（収支計画）について

これらの更新ポイントを踏まえ、投資財政計画（収支計画）を再算定したところ、以下のような結果となりました。(考え方など、詳細はP28-39を参照してください。)

### ・年平均収支差引

総収入 736,289 千円 - 総支出 843,963 千円 = 収支差引△107,674 千円

・収益不足額 107,674 千円を補うためには下水道使用料収入を24%増収することが求められます。

収益不足額 107,674 千円 ÷ 使用料収入 460,914 千円 ≒ 使用料収入不足割合 24%

将来の人口予測に基づき、使用料収入は増加する見込みとなっていますが、それ以上の費用増加が見込まれています。使用料改定を行わない場合、毎年大幅な赤字を計上することになり、厳しい経営状況が続くと予想されます。必要な修繕や改築等が十分に行えず、下水道サービスの機能停止や、重大な事故等が起こるリスクが高まります。

これらの結果を基に、適正な下水道使用料の検討及び使用料改定の必要性を検証するため、令和8年5月から審議会を開催します。

町民の皆様には下水道サービスを安定的にお届けできるよう、引き続きしっかりと経営状況を把握し、使用料改定についてご理解いただけるように努めていきます。